

平成27年度

# 丹波すぐれもの大賞

きらめき部門



サイバーテスター  
株式会社 岩崎電機製作所

きらめき部門



花しずくシリーズ  
有限会社 喜南鈴硝子

きらめき部門



TS Black TS White  
Tanba Style

わくわく部門



新栗もち  
株式会社 諏訪園

きらめき部門



GX-SONIC II  
ミズノテクニクス株式会社  
氷上工場

丹波地域は、豊かな自然や四季折々の味覚、歴史や伝統が色濃く残る町並み、そして京阪神へのアクセスの良さなど、豊かな資源に恵まれた地域です。

さらに、丹波地域には、国内外で高いシェアや優れた技術を誇る企業が数多く操業しています。しかし、残念ながらこうした企業の存在があまり知られていません。

そこで、地域の未来を担う若者をはじめ地域内外の多くの方々に、丹波地域の企業等の取組みへの興味や関心を高めていただくため、平成23年度より「丹波すぐれもの大賞」を創設し、地元企業等のすぐれた技術や製品を顕彰しております。

今年度は、「きらめき部門」と「わくわく部門」併せて6件のご応募があり、学識者等からなる6名の審査委員による厳正な審査を経て、計5件の「すぐれもの」を選出し、受賞企業には、日本六古窯のひとつとして有名な丹波焼の表彰盾をお贈りしました。

丹波県民局においては、「丹波県民局地域戦略」を策定し、「人口対策」と「地域の元気づくり」による地域創生に取り組んでいます。「地域の元気づくり」では、丹波ブランドの育成と活用による産業振興を図ることとしており、「丹波すぐれもの大賞」もそのための主要な事業の一つに位置づけています。

今後も、地域のすぐれた技術を有する企業や製品等に対する顕彰を通じて地域の活性化を図り、豊かな産業・ものづくりにあふれる丹波の創造を目指していきたくと考えています。

## 講 評

審査委員会委員長 内田 仁  
(兵庫県立但馬技術大学校長)

平成23年度に丹波県民局で創設された「丹波すぐれもの大賞」が、今年で5回目を迎えました。今年度は、「きらめき部門」4件、「わくわく部門」2件のご応募があり、様々な分野の専門家等6名の審査委員による厳正な審査の結果、5件の「すぐれもの」を選出しました。

審査にあたっては、昨年度に引き続きプレゼンテーション審査を実施し、応募書類には表れにくい応募内容の魅力を発掘するとともに、製品や商品の革新性や高度な技術、産業界や経済界への貢献など、様々な面から審査させていただきました。

まず、きらめき部門ですが、(株)岩崎電機製作所の「サイバーテスター」は、これまで人が長時間かけて実施していた産業機器の製品検査の自動化を可能にしており、検査時間の短縮、人件費などのコスト削減、品質の向上を実現しました。

(有)喜南鈴硝子が生産されている「花しずくシリーズ」は、自社で開発された鉛を含まない素材ガラスを使用することで、安心安全面でも期待出来るほか、透明感が高く、色の発色が美しい製品となり、熟練の技術によるガラス花の装飾により、ガラスの中に花が咲いているかのような魅力的な製品となっています。

Tanba Styleの「TS Black」、「TS White」は、8名の丹波焼の窯元が集まって一つのブランドを創り上げ、古来から伝わる伝統技法を活かしながら、和食器のイメージの強い陶器で新たに洋食の器を制作し、販路開拓にも取り組んでいます。

ミズノテクニクス(株)水上工場の「GX-SONIC II」は、縫合部を超音波溶着することにより水に対する表面抵抗を削減するとともに、スイマーの姿勢維持をサポートする成型加工が行われ、丹波の地からトップスイマーへ優れた水着を供給しています。

次に「わくわく部門」ですが、(株)諏訪園の「新栗もち」は、地元産の丹波栗を使用し、独自の生産加工製法により、丹波栗の風味をそのままに新鮮な自然色を残したまま加工することに成功しています。

以上、受賞内容について簡単にご紹介いたしました。今回選外になった製品にも、企業発展や地域貢献に向けて創意工夫が凝らされており、丹波地域には、大変素晴らしい企業や団体があることを改めて実感いたしました。

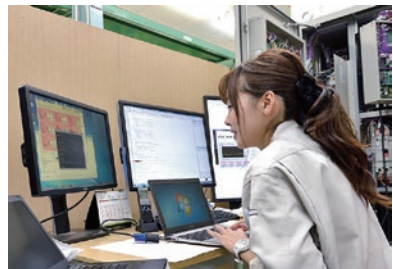
最後に、皆様が今回の受賞を契機に一層の飛躍を遂げられますようご祈念申し上げまして、簡単ではありますが講評とさせていただきます。



きらめき部門

# 株式会社 岩崎電機製作所

## サイバーテスター



これまで人が検査し、多くの時間を要した産業機器等の機能検査を自動化し、検査時間の短縮や人的ミス（データの計測ミスや転記ミスなど）を排除するプログラム・検査装置を開発しました。

検査を自動化することにより、大幅な時間短縮と無人化による人件費削減などのコストダウンに繋がるとともに、人的ミスの排除により、品質の向上にも繋がっています。

また、手動よりも多くのデータを収集することが出来るようになり、製造過程における製品の不具合の早期発見などや、統計的に品質管理・品質保証が行えるようになりました。

現在、自動電圧調整器、開閉器制御装置、パワーコンディショナー、トランス、デジタルリレーユニットなどの自動検査装置を製作し、自社工場での応用と、関連会社への販売も手掛けています。

パソコンにおけるプログラムの汎用性と回路設計を組み合わせることで、大掛かりな電気工事、配線を行わなくとも自在に回路を組み換え、種々多様の製品検査に対応出来るため、今後の展開に期待が出来ます。

### 会社概要

所在地：兵庫県篠山市河原町229-2

代表者：代表取締役社長 藤平 博之

創業：昭和46年4月

資本金：9,800万円

社員数：167名

事業内容：電機機械器具製造業

問い合わせ先：TEL / 079-552-7000  
FAX / 079-552-6810

H P : <http://www.iwasakidenki.co.jp/>

### 会社沿革

- 昭和44年4月 創業
- 昭和49年4月 法人設立 篠山市糯ヶ坪
- 昭和52年2月 本社移転 篠山市河原町（現・第二工場）
- 昭和61年8月 本社工場（現・第三工場）新設
- 平成12年1月 八上工場（現・本社工場）新設
- 平成13年2月 ISO9001取得（本社工場）
- 平成15年2月 本社工場移転
- 平成15年3月 ベトナム現地法人設立
- 平成18年4月 ISO14001取得（本社工場）
- 平成22年7月 第一工場 新設
- 平成25年3月 第二工場 物流倉庫新設
- 平成26年3月 本社工場 工場棟増築

# 有限会社 喜南鈴硝子

## 花しずくシリーズ

当初、「とんぼ玉」という穴のあいたガラスビーズを外国製のガラス素材を使用していたが、ロット毎の品質のバラつきによる製品の割れや、加工時のガラス素材の変質、低透明性の面でガラス本来の美しさが損なわれていました。

それらを改善するため、産業技術総合研究所との共同研究を開始し、当時の工芸ガラス素材の主流は鉛ガラス(低融点)でしたが、製造業者、作業者の観点から環境にも配慮した非鉛ガラスの開発に踏み切りました。

この鉛の代替となる複数の原材料を調整しながら、作業性(適度な粘性)も良く、耐水性にも優れているという開発と透明度を上げるための現場での溶融技術に相当な苦労を要しました。

その後、この素材の基礎開発を終え「低融点非鉛含有・高耐水性工芸用ガラス素材」で特許を取得し、現在は色ガラスの開発に焦点を絞り、約200色の色ガラス素材が製品化されており、今も尚新たな色ガラスに向けて開発を続けています。

この素材の特徴を最大限利用し、製品化された商品が今回受賞の「花しずくシリーズ」です。既存のガラス以上の透明度、色の発色、色数の多さと熟練職人による加工技術で、より実物の花に近い立体的な表現が可能となりました。

同社は、工芸用ガラス素材の製造から、ビーズの加工、製品デザイン、組立、直販(卸)まで一貫体制で行っている日本で唯一の会社で、とんぼ玉製作やアクセサリー作りのワークショップ、教室等も手掛けています。



### 会社概要

所在地：兵庫県篠山市辻924

代表者：取締役 谷 喜代司

創業：平成12年12月

資本金：300万円

社員数：10名

事業内容：工芸ガラス素材、工具、製品の製造、小売、卸と工芸ガラス教室展開

問い合わせ先：TEL / 079-556-3350  
FAX / 079-506-2236

H P : <http://www.tonbodama.com/kinariweb/>

### 会社沿革

- 平成9年 喜南鈴硝子の前身である吉村商会設立  
とんぼ玉の販売を開始
- 平成12年12月 大阪市城東区にて有限会社喜南鈴硝子を設立  
ガラス素材、加工道具類の販売  
ガラス工芸教室事業を開始
- 平成15年4月 「低融点、非鉛含有ガラス」を産業技術総合  
研究所と共同開発開始
- 平成18年4月 上記開発ガラスの製造、販売開始
- 平成18年9月 近畿経済産業局の新連携認定補助金を受ける。
- 平成19年7月 工場を篠山市辻へ移設
- 平成23年7月 上記、特許取得
- 平成23年8月 本社を篠山市辻へ異動
- 平成25年10月 花しずくシリーズの発売を開始
- 平成27年2月 100色かんざしシリーズの発売を開始
- 平成28年2月 JAPANミルフィオリシリーズの発売を開始

# Tanba Style

## TS Black TS White



丹波焼の新たな可能性を追求するために8人の窯元が立ち上がり、和食器のイメージが強い陶器を、普段使いの器としてワンランク上の食卓を提案できるよう洋食の器をテーマに、形状や使用方法について研究を行い、オリジナルブランド「TS」を創り上げました。

商品としての規格性を高めるため、仕上がりが1点1点個性を持つような装飾技法を避け、古来から伝わる陶芸技法“鎬（しのぎ）”をあしらっています。色目は丹波焼で古くから作られてきた“丹波黒”と“白丹波”を意識し、洋食の器に合うように、器が主張し過ぎないマット調にアレンジして「TS Black」と「TS White」を制作しました。

「TS White」は“白”の発色の規格性を保つことが難しく、窯焼きの方法や釉薬の研究を進めています。

オリジナルブランド「TS」を軸に、Tanba Styleメンバー同労を惜しまず活動が続けていることが、首都圏や大阪での展示・販売会の引き合いにつながり、着実に新たな販路を開拓しています。今後もTanba Styleの活動を通じて丹波焼の普及や地域経済の活性化にも貢献していきます。

### 団体概要

所在地：兵庫県篠山市二階町58-2

代表者：委員長 市野哲次

事業内容：製陶業

問い合わせ先：TEL / 079-552-0758  
FAX / 079-552-2531

H P : <https://tanbayaki.net/>

### 沿革

- 平成25年4月 篠山市商工会の支援を受け、志を同じくした丹波焼創り手6名で丹波焼啓発普及の為に事業を始める
- 平成26年3月 丹波焼を広く周知する為Tanba Style創り手PRイベントをグランフロント大阪にて開催
- 平成26年4月 新たに2名の創り手が加わる
- 平成26年10月 洋食の器をテーマにTanba Styleブランド『TS』『TS+』が完成
- 平成26年12月 グランフロント大阪にてブランド発表イベントを開催
- 平成27年10月 阪急うめだ本店たち吉にてTSブランド展示会を実施
- 平成28年2月 TSブランドの販路拡大を目指して東京インターナショナルギフトショーに出店

きらめき部門

# ミズノ テクニクス

株式会社 氷上工場

## GX-SONIC II



選手の要望を聞きながら、テクノロジーを生かした商品の開発に取り組みました。

表面摩擦抵抗を抑える新しい布帛素材を使用し、縫合部を超音波溶着することにより、水に対する表面抵抗を削減するとともに、筋骨格シミュレーションにより水泳時の筋肉負荷を解析し、サポート力と動き易さのバランスを導きだすことで、前モデルよりも進化した水着「GX-SONIC II」を開発・製造しました。「GX-SONIC II」は、『ST MODEL（爆発的パワーを求める短距離種目を専門とするスプリンターモデル）』と『MR MODEL（動き易さを求めるマルチレーサーモデル）』の2タイプを製造し、スイマーのニーズに応じたモデルを選ぶことが出来、国内トップクラスのスイマーも当製品を使用されています。

ミズノテクニクス㈱氷上工場では、超音波溶着による製品表面の平滑化や、目的・商材に応じた接着条件の選定、適正製造工程時間の設定と検証などを実施するほか、動画による工場現場指導の実践や製造現場での工程改善指導などの協力工場への指導も行っています。

『より良いスポーツ品とスポーツの振興を通じて社会に貢献する』を企業理念として、信頼と期待に応える製品づくりに取り組んでいます。



### 会社概要

本社所在地：岐阜県養老郡養老町高田307-5

代表者：代表取締役 伊藤 隆志

設立：2002年4月

資本金：10,000万円  
(ミズノ株式会社100%出資子会社)

社員数：389名

事業所名称：ミズノ テクニクス株式会社 氷上工場

事業所所在地：兵庫県丹波市氷上町横田610-1

事業内容：スポーツアパレル製造

問い合わせ先：TEL / 0795-82-2210

FAX / 0795-82-5180

H P : <http://www.mizuno-technics.co.jp>

### 会社沿革

昭和44年 兵庫県丹波市にてミズノ株式会社 大阪工場氷上分工場として設立

・スキーウェア、ゴルフパンツ、野球グラウンドコート製造

昭和64年 ミズノインダストリー氷上株式会社として独立

・布帛品（アスレチック）  
・冬季競技ウェア（JPワンピース、GSワンピース、スケートワンピース等）製造

平成15年 ミズノインダストリー伊賀株式会社と合併

・スイムウェア製造開始

平成22年 ミズノ アパレルテクニクス株式会社に社名変更

ミズノインダストリー四国と合併

・野球ウェア製造開始  
・スイムウェア⇒ロンドンオリンピックへの特殊仕様への取組み

平成27年 ミズノ テクニクス株式会社と合併し、ミズノ テクニクス株式会社 氷上工場 と社名変更

・冬季競技、競泳水着、野球ユニフォームなど、スポーツアパレル製品の設計、製造、さらには製造技術開発

・スキーチャンピオン選手の競技ウェア、競泳選手の水着、プロ野球のユニフォームなどにおいては、トップ選手やナショナルチームのサポートも行っています

・ミズノ㈱と連携をして開発商品の提案  
リオオリンピック用水着 生活者向け健康サポートウェア

・新技術への取組  
接着ウェア レーザー・プロジェクター裁断

わくわく部門

# 株式会社 諏訪園

## 新栗もち



丹波の秋の味覚の中でも、深い味わいを楽しませてくれる丹波栗ですが、栗は風味を出しにくく、変色の速い食材で、その加工には高度な技術が要求されます。

㈱諏訪園は、3年前に新しい設備を導入し、施行錯誤を繰り返す中で、独自の生産加工製法を確立し、丹波栗の風味をそのままに、また新鮮な自然色を残したまま加工することに成功しました。

同社では、更なる品質向上を目指すため、5年前から自家栽培にも取り組んでいます。「新栗もち」は、自家栽培及び地元生産者の栗のみを使用しているため、品質管理の徹底ができ、安心安全で質の良い商品の提供に繋がるとともに、地域農産物の生産・消費拡大にも貢献しています。

秋の銘菓として代表的な「栗もち」ですが、「新栗もち」は発売以来、年々売り上げを伸ばしています。新鮮な栗を使用するため、販売期間は約2カ月となっていますが、同社の売上の上位を占めており、同社を代表するブランド商品となっています。今後も丹波栗の品質や美味しさをPRする商品として販売を伸ばしていくことで、丹波篠山ブランドの認知度向上への貢献が期待出来ます。

### 会社概要

所在地：兵庫県篠山市味間奥14630

代表者：代表取締役 酒井 一行

創業：昭和40年4月

資本金：300万円

社員数：29名

事業内容：茶・菓子製造販売

問い合わせ先：TEL / 079-594-0855

FAX / 079-594-1150

H P : [http://www.suwaen.cc/Pages/top\\_page.html](http://www.suwaen.cc/Pages/top_page.html)

### 会社沿革

- |          |                           |
|----------|---------------------------|
| 昭和40年    | 兵庫県篠山市にてお茶の卸売り問屋として創業     |
| 昭和58年9月  | お茶専門店「諏訪園」設立。本店を開店        |
| 昭和62年    | 和菓子の併売を始める                |
| 平成4年9月   | 篠山商店街に諏訪園篠山店開店            |
| 平成15年3月  | 茶遊菓楽の称号を付加し「茶遊菓楽 諏訪園」設立   |
| 平成15年9月  | 諏訪園インター店開店<br>インター店菓子工場操業 |
| 平成26年10月 | 「株式会社諏訪園」に改組              |

平成23年度

きらめき部門

受賞者名	所在	製品
明昌機工株式会社	丹波市	NANO IMPRINTER (ナノインプリンター)
株式会社大地農園	丹波市	プリザーブ加工技術による新商品カサブランカ等
フルヤ工業株式会社	篠山市	熱可塑性樹脂×シリコーンゴム(熱硬化性)の同時一体成型品
平和発條株式会社	篠山市	伸縮両効き皿ばねユニット

平成24年度

きらめき部門

受賞者名	所在	製品
ダンロップスポーツ株式会社 市島工場	丹波市	ゴルフボール XX10(ゼクシオ)シリーズ SRIXON(スリクソン)Z-STARシリーズ



ダンロップスポーツ株式会社 市島工場



フジフレッシュフーズ株式会社  
株式会社河南勇商店



まさゆめさかゆめ



株式会社西山酒造場

平成25年度

きらめき部門

受賞者名	所在	製品
株式会社ニッコー	篠山市	金型温度調節器
柏原加工紙株式会社	丹波市	teshio paper
ノズルネットワーク株式会社	丹波市	マイクロフォッグ技術による低コスト製品等



## わくわく部門

受賞者名	所在	製品
株式会社やながわ	丹波市	丹波栗スイーツ「和のモンブラン」



明昌機工株式会社



株式会社大地農園



フルヤ工業株式会社



平和発條株式会社



株式会社やながわ

## わくわく部門

受賞者名	所在	製品
フジフレッシュフーズ株式会社 株式会社河南勇商店	篠山市	丹波山の芋加工食品「丹波山芋焼き」
まさゆめさかゆめ	丹波市	丹波栗バームクーヘン「樹乃根 太鼓」
株式会社西山酒造場	丹波市	清酒製造技術を応用した 「甘酒ヨーグルト」「甘麴」

## わくわく部門

受賞者名	所在	製品
株式会社小田垣商店	篠山市	ドライパック丹波黒
株式会社やながわ	丹波市	丹心バウム ハード（黒豆きなこ）



株式会社ニッコー



柏原加工紙株式会社



ノズルネットワーク株式会社



株式会社小田垣商店





株式会社やながわ

平成26年度

きらめき部門

受賞者名	所在	製品
株式会社ささめ針	丹波市	クレイドル 
谷水加工板工業株式会社	丹波市	船舶用「おとのん」 

わくわく部門

受賞者名	所在	製品
株式会社西山酒造場	丹波市	小鼓 路上有花シリーズ 
鳳鳴酒造株式会社	篠山市	にごりうめ 

# 平成27年度 丹波すぐれもの大賞 応募要領

丹波地域には、すぐれた技術を持つ多くの企業等が立地・操業しています。

丹波県民局では、丹波地域の産業の豊かさを広くアピールするとともに、地域の産業の活性化を図るため、平成23年度から「丹波すぐれもの大賞」を実施し、特色ある丹波の“ものづくり”を行う企業等を顕彰しています。

☆ 受賞製品はリーフレット等で紹介し、地域内外に向けPRします

☆ 受賞者には丹波焼陶板の盾を贈呈します

## ◆ 表彰部門 ◆

**きらめき部門** …革新的で高い技術を要し、産業及びビジネスで活用される製品や商品等(食料品類を除く)

**わくわく部門** …画期的な発想と高い技術力により、丹波地域の特色を活かした独創的で優れた品質の食料品類

## ◆ 応募資格 ◆

丹波地域内で事業活動する企業・団体・グループ  
又は個人

## ◆ 応募方法 ◆

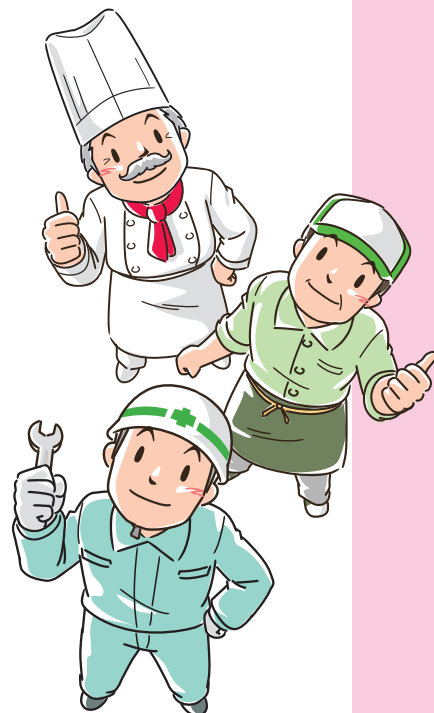
所定の応募書類1部を提出。自薦・他薦不問。

## ◆ 募集期間 ◆

平成27年10月13日(火)～  
平成27年11月13日(金)

## ◆ 審査方法 ◆

書類による1次審査及びプレゼンテーション  
による2次審査を行い、受賞者を決定。



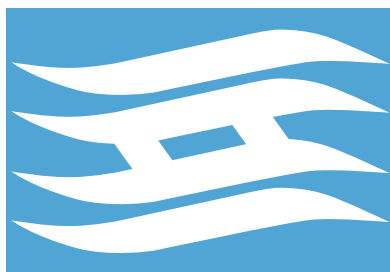
《問い合わせ先》

兵庫県丹波県民局 県民交流室地域振興課

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原688

TEL. 0795-73-3784 FAX. 0795-72-3077

ホームページ <http://web.pref.hyogo.lg.jp/area/tanba/index.html>



丹波すぐれもの大賞

兵庫県丹波県民局  
県民交流室 地域振興課

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原688  
TEL: 0795-73-3784